

教科目名 校外実習 (Factory Training)

学科名・学年 : 制御情報工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 科目)

単位数など : 選択 1単位 (学習保証時間0時間)

担当教員 : 金田 嗣教

授業の概要			
官公庁,大学,企業などでの就業体験を通し専門分野での自分の知識を確かめ,さらに発展させると共に本科における勉学の目的を明確にする.また,社会が要求し期待する人物像を具体的に把握するなど,社会人,職業人としての心構えについても学ぶ.			
達成目標と評価方法		大分高専目標(D2) JABEE 目標(d2d)	
(1) 社会人,職業人として社会から期待される人物像を具体的に把握し,その心構えができる.(報告書審査・発表審査)			
(2) 与えられた専門分野での実務上の問題と課題を理解し,適切に対応し解決するために,自分の知識を確かめ生きた知識として確固たるものとする事ができる.(報告書審査)			
(3) 研修先の人々の指導を仰ぎ,さらに,実習に関連のある人達と協力し与えられた問題を解決することができる.(実習証明書・報告書審査)			
(4) 実習の経過や成果を報告書にまとめ,研修した成果を発表することができる.(報告書審査と発表審査)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
	1. ガイダンス 2. 実習先の決定 3. 実習 4. 報告書の提出 5. 報告会	校外実習の詳細については,学生便覧中に記載の「大分工業高等専門学校における校外実習,課題学修,及び特別学修に関する細則」を参照すること. 校外実習の意義,実習先紹介,実習先申込みから採用決定までの流れなどについて説明する. 他学科との調整の後,クラス担任を通して実習を申込み. 実習期間は原則として夏期休業期間中の5日以上とする.実習後に担当教員に提出する報告書や実習報告会での発表内容について,実習先に迷惑を掛けないよう実習担当者とはよく相談しておくこと. 実習後,所定の様式の実習報告書を作成し提出する. 発表用資料を作成し,実習の内容や成果を発表する.	【理解の度合い】
履修上の注意	校外実習は実習先企業等の厚意で受け入れて頂いているので,様々な場面で迷惑を掛けることの無いように細心の注意をすること.		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書			
関連科目	実務実習(専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について,企業からの評価書,本人の報告書,報告会の発表を総合して評価する. 総合評価は,下式で算出し,60点以上を合格とする.なお,報告会の発表の評価は報告会に出席した教員が複数名で行う.また,評価書および報告書の審査は担任が行うものとする. 総合評価 = 報告会に出席した教員の評点の平均 × 0.6 + 評価書および報告書審査の評点 × 0.4 各個別の評点は,100点満点で採点するものとする.		【総合評価】 点